

1 進行管理

本計画の施策や、施策により目指す姿の実現に向けた取組を着実に推進するため、PDCAサイクル(Plan:計画-Do:実施-Check:評価-Action:改善)の考え方にに基づき、毎年度、本計画に沿って施策を実施するとともに、成果や課題を評価・検証し、事業内容・手法の工夫や工程の修正、社会状況の変化に応じた施策の見直しや新たな施策の立案など、必要な改善・見直しを行い、最終年度における目標の達成に向けて取り組めます。特に、重点項目においては、取り組む事業・取組の成果指標から進捗状況を把握し、総合的に評価することで、必要な改善・見直しを行います。

また、計画の推進には、園・学校・家庭・地域などの多様な主体との連携・協働が必要であり、目標や事業計画が計画期間内でどこまで達成できたのかを関係者に分かりやすく伝える必要があります。そのため、「教育委員会事務点検・評価」を活用し、毎年度関連する指標を含め事業ごとに点検と評価を実施しながら、広く市民の皆様に公表していきます。

2 市民及び関係機関等との連携・協働

未来を担う子どもを育み、市民一人一人が生涯にわたる学びを実践するためには、社会全体で子どもの成長と自立、市民の学びを支えていくことが必要です。

園・学校・地域・家庭・行政の各主体が、教育においてそれぞれが果たすべき役割を認識し、主体的に子どもの教育や生涯の学びに関わるとともに、それぞれが連携し相互補完しながら取り組み、各種団体や企業、大学など多様な主体の協力と参画を得て、教育の更なる充実を目指します。

また、近年、子どもを取り巻く課題は、複雑化、多様化しており、子どもの権利や福祉、地域づくりなどをはじめとした様々な観点から課題の解決を図っていく必要があります。

更に、市民の生涯にわたる学びにつながる取組は、子育て支援や、スポーツ・文化の普及・促進、環境教育の推進、国際化の推進など様々な分野にわたります。

こうしたことから、今後も札幌市の関係部局と組織横断的な取組を推進するとともに、国、北海道、その他関係機関等と連携協力を図っていきます。

3 成果指標一覧

		成果指標	現状値 (2022)	目標値 (2028)	指標選定の考え方
基本的方向性1 一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進					
1-1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	1	自分の目標をもって生活している子どもの割合	—	80%	自ら目標を設定し実現しようとしている子どもの意識を示す指標
	2	疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている子どもの割合	78.1%	85%	課題解決に向けて主体的に考え行動する子どもの意識を示す指標
1-2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	3	自分にはよいところがあると考えている子どもの割合	77.8%	90%	子どもの自己肯定感を示す指標
	4	自分が必要とされていると感じている子どもの割合	61.6%	80%	子どもの自己承認の感度を示す指標
1-3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実	5	通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どものうち、個別の教育支援計画を支援に生かすことのできた子どもの割合	43.3%	80%	個別の教育支援計画に基づき、一人一人の教育的ニーズを踏まえた適切な指導・支援がされていることを示す指標
	6	学びのサポーターとの連携等により、支援の充実を図ることのできた学校の割合	92.0%	100%	学校が把握している支援の必要な子どもに対して、支援の充実を図ることができている学校の割合を示す指標
1-4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実	7	「自分が安心して学ぶことができている」と考えている子どもの割合	—	100%	一人一人のニーズに応じた多様な学びの場を確保されていることを示す指標
	8	先生や家族以外にも相談できる大人がいると考えている子どもの割合	—	90%	子どもが悩みを相談できる相手の有無を示す指標
基本的方向性2 学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充					
2-1 誰もが安心してふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	9	「札幌っていいな」と感じている子どもの割合	—	90%	ふるさと札幌のよさを実感している子どもの割合を示す指標
	10	振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがあると答えた子どもの割合	72.6%	90%	札幌らしい学校教育における学びや成長を実感している子どもの割合を示す指標
2-2 誰もが安心して家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進	11	家の人や地域の人に認められたり、支えられたりしていると感じる子どもがある割合	—	90%	子どもの成長を促す家庭や家庭の関わりを示す指標
	12	家庭教育事業への参加が今後の家庭教育に役立てることができると感じた人の割合	—	90%	家庭の教育力向上を示す指標

2-3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進	13	地域学校協働活動に参加している子どもの年間延べ参加者数	13,061人	53,000人	保護者や地域の方と連携・協働した取組に参加している子どもの数を示す指標
	14	自分の学びや成長に学校以外の様々な人が関わっていると感じている子どもの割合	—	90%	地域の人々との関わりを通して、自己の学びや成長を実感している子どもの割合を示す指標
	15	生涯学習をしている市民の割合	76.2%	80%	生涯学習活動を行ったことがある市民の割合を示す指標
	16	これまでに学んだ成果を生かしているまたは今後生かしたいと考えている市民の割合	—	80%	生涯学習活動の成果を生かしている、または今後生かそうと考えている市民の割合を示す指標
基本的方向性3 社会の変化に対応した教育環境の充実					
3-1 安全・安心な教育環境の整備	17	自分の学ぶ環境は、安全面での配慮がされていると考えている子どもの割合	—	100%	自分の学ぶ環境は、安全面での配慮がされていると考えている子どもの割合を示す指標
	18	市立園・学校におけるバリアフリートイレの整備割合	63.4%	100%	環境整備が充実されたことがわかる指標
	19	普通教室等へ冷房設備を整備した市立園・学校の割合	0%	100%	環境整備が充実されたことがわかる指標
3-2 教育DX推進に向けた教育環境の整備	20	情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている子どもの割合	—	90%	情報活用能力を身に付けようとしている子どもの割合を示す指標
	21	授業や校務にICTを効果的に活用できる教員の割合	81.9%	100%	校務や授業にICTを活用し、児童生徒の情報活用能力の育成に向けた指導ができると答える教員の割合を示す指標
3-3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築	22	「教職経験に応じた研修」における学びを生かして子どもの学びの充実を図っていると答えた教職員の割合	—	100%	教職員が学んだことを主体的に生かそうとする意識を示す指標
3-4 豊かな生活につながる学びの環境の充実	23	自己の発育や健康に関心をもつ子どもの割合	—	100%	自己の発育や健康に関心をもつ子どもの割合を示す指標
	24	図書館の年間延べ来館者数	2,258,324人	3,000,000人	図書館の来館者数を示す指標
	25	図書館の利用登録がある市民の割合	14.6%	25%	市民の図書館の利用状況を示す指標